

## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

昨年はコロナ感染症の収束が見えない中で、高齢者医療、末期癌患者様の緩和医療において、在宅医療の意義がさらに問われた1年であったと感じております。

病院での面会制限などにより、患者様、ご家族が家で過ごしたいとさらに思うようになりました。

他方では、在宅で患者様がコロナ感染症にかかると、もともと老老介護、独居である介護度の高い患者様においては、介護資源がたくさん入ることによって成り立っていた生活ですから、生活そのものが立ち行かなくなり、医療の前の生活が問題になり、在宅医療の無力さも感じました。

そんな中、昨年は新規の患者様の紹介をさらに多くいただき、病院、ケアマネージャー様などには心より感謝申し上げます。

来年度も複数の常勤医就職がありますので、さらに対応力を上げて在宅医療に取り組んでまいります。

医師の数がかなり増え、一人ひとりに目を向けるとなかなか至らない部分もあったかもしれませんが、自分の身内を診る思いで“すぐに往く、聞く、話す丁寧な在宅医療”の理念を大事に、至らない部分は修正して真摯に取り組んでまいりたいと思いますので、今年もご指摘、ご指導なにとぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人みらい 沖田将人